

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成29年度取組結果】

団体名	公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム
-----	------------------------

所管課	総務局 男女共同参画推進課
-----	---------------

団体に対するミッション
<p>①日本及び他のアジア諸国の男女共同参画に関する調査研究、国際交流、情報収集・発信等を通じて、日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、相互の発展に寄与する。</p> <p>②団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、女性が活躍できる経済社会の実現など、本市における男女共同参画社会の形成の推進に寄与する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>研究部門については、国際的な視点からの男女共同参画に加えて、その時々々の行政課題等に的確に対応し、市の政策課題である「第3次男女共同参画基本計画」の重点取組みに直結した業務を行い、その成果を市民に見える形で還元していく。なお、成果が見られなければ、大学等との統合、又は、廃止を検討する。</p> <p>また、既存事業をゼロベースで精査・見直し、同計画の具体的施策を具現化するための事業に集中して取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、調査研究、国際交流、情報収集・発信、各種プログラムの開発、セミナーの開催等を行うことにより、本市における男女共同参画社会の形成を推進する。
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H28 実績	H29 目標 実績		H30 目標	H31 目標	H32 目標	H33 目標
男女共同参画という言葉の認知度	— <small>(68.9% 平成23年度調査)</small>	—	70	80%	—	—	—
「研究報告会」・「アジア女性会議」・「国際理解セミナー」の参加者満足度	80%	70%	85	70%	70%	70%	70%
「研究者ネットワークセミナー」・「キャリア形成プログラム」の参加者満足度	88%	70%	84	70%	70%	70%	70%
男女共同参画センター及び勤労婦人センターの事業数	308講座	前年度と同程度	279講座	前年度と同程度	前年度と同程度	前年度と同程度	前年度と同程度

ミッションの遂行状況の評価（平成29年度）

団体における評価	「第3次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえた調査研究を、客員研究員委託研究により、幅広いテーマで実施することができた。また、介護をめぐる海外や日本の状況をテーマにしたアジア女性会議や、女性の社会進出がめざましい台湾の現状と課題を学ぶ台湾スタディツアー、国際理解セミナーなど、国際的な視点からの男女共同参画、時事の行政課題に即したテーマを市民に提供することができた。ムーブ・レディスの講座についても、キャリア形成や男性の家事参加などの視点から内容の充実を図った。このような取組みの結果、参加者の高い満足度を得ることができ、女性の地位向上や男女共同参画社会づくりに寄与することができた。	市の評価	団体が有する専門性やネットワーク等を活用し、男女共同参画社会の形成の推進に向け、高校生や大学生を対象としたキャリア形成プログラムを実施するほか、男性向け家事参加講座の実施、若年層の女性向け啓発冊子の作成などに取り組んでおり、男女共同参画の推進機関としての団体の活動は評価することができる。調査研究については、市の男女共同参画基本計画を踏まえ、市民に見える形での成果の還元ができるよう更に取り組む必要がある。
今後の課題及び見直し内容（案）	市の第3次基本計画に直結したテーマや、時事に即したテーマ設定による調査研究、プログラム開発、セミナー・講座等を開催し、女性の地位向上や男女共同参画社会づくりを推進する。また、幅広い調査研究やセミナーの開催等に対応するため、外部の研究者をより積極的に活用する。	団体への改善指導内容（案）	市の男女共同参画基本計画を踏まえ、更に効率的・効果的な取り組みを求める。研究部門を含め、具体的な事業内容や運営体制について見直しを進める。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	統合を検討する団体 特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体
<p>研究部門については、フォーラム雇用の研究員職を廃止し、外部の研究者を活用した客員研究等を実施した。また、市の男女共同参画基本計画を踏まえた、高校や大学を対象としたプログラムや女性の就業促進に関するプログラムなどに取り組んだ。</p> <p>これまで以上に市の男女共同参画基本計画を踏まえた取り組みを進めるため、研究部門を含めた事業全体についてあり方を検討し、今後、具体的な見直し内容を検討する。</p>	